

<がんサロン和み>

平成29年12月9日土曜日午後1時より、今年度3回目のがんサロンを開催しました。「自分でできるリハビリテーション」をテーマに当院緩和ケアチーム理学療法士、作業療法士が講師をつとめました。当院入院・通院中の患者様7名にご参加いただきました。

がん患者さんにおけるリハビリテーションは、がんそのものによる機能障害、がん治療の過程で生じる障害が対象となります。たとえば前者では、がんが原因の痛みや骨折、麻痺、言語障害、しびれなどがあります。後者では、がん治療による筋力や体力の低下、手術後の肺炎の合併症、関節の運動障害、機能障害などです。

リハビリテーションで大切な点は、安全な方法と適切な負荷量で行うことです。講義では、自分でも簡単にできる運動のレクチャーとリハビリテーションを実際に体験していただきました。その後、お茶を飲みながらの座談会を行いました。座談会では、リハビリテーションに関する話し合い以外に、日頃の生活での困りごとについて話し合いました。患者様からいただいたご意見を今後の運営に反映させていきたいと思います。

次回は、2018年3月10日（土）13:00～14:30三田ホールで開催予定です。
がん治療中、がん治療後の食事に関する内容を検討しています。

